

株式会社ハイドロウィングラボ

2026年第1四半期

中国 燃料電池産業 四半期レポート

China Fuel Cell Industry Quarterly Intelligence Report

調査対象期間	2025年12月25日 ~ 2026年3月25日
対象地域	中国国内（中国企業の海外活動を含む）
対象分野	PEMFC / SOFC / MCFC / 高温型 / 低温型 / 車載 定置 船舶 ドローン 全タイプ
情報源	新华社 中国能源报 新浪财经 企業発表 政府通知 証券アナリスト報告
発行機関	株式会社ハイドロウィングラボ
発行日	2026年3月31日
定価	89,000円

本レポートは中国国内の公開情報（新聞記事 プレスリリース 政府文書 証券アナリスト報告）に基づき独自に分析 編集したものです。投資 経営判断への利用は自己責任でお願いします。

目次

1	エグゼクティブサマリー	3
1b	FC種別技術比較	5
2	市場 政策動向	6
2.1	燃料電池政策（工信部 発改委 十五五）	6
2.2	示範都市群 補助金動向	7
2.3	インフラ整備（加水素ステーション）	8
3	技術動向（FC種別詳細）	9
3.1	PEMFC—車載 定置 ドローン向け	9
3.2	SOFC—分散型発電 熱電連供	10
3.3	FC部材—MEA 双極板 触媒	11
4	用途別動向	12
4.1	商用車（重卡 バス 物流）	12
4.2	乗用車 FCEV	13
4.3	船舶 鉄道 低空経済（ドローン）	14
4.4	定置型 フォークリフト バックアップ	15
5	主要ニュース詳細（月別）	16
5.1	2025年12月（調査開始）	16
5.2	2026年1月	18
5.3	2026年2月	20
5.4	2026年3月	22
6	主要企業動向	25
6b	コスト分析	27
7	技術 市場の示唆（重要）	28
7b	用語集	31
8	参考情報 主要情報源	32
8b	アナリストのまとめ	33
9	免責事項	34

1. エグゼクティブサマリー

2026年第1四半期の中国燃料電池産業は、政策面で重大な転換点を迎えた。3月に工信部 財政部 発改委の三部門が「水素エネルギー総合応用試験工作」の通知を发出し、単一都市群あたり最大16億元の補助金枚組みが創設された。これは従来の「示範都市群」施策から、水素の多元応用（化工 冶金 発電 船舶）への拡張を意味し、燃料電池産業全体に大きな追い風となる。

重要トピックTOP7

三部門「水素エネルギー総合応用試験」通知发出（都市群あたり最大16億元）
亿华通が300kW第三世代FCエンジン「M30+」を発表（部品国産化率100%）
国鸿氢能が136台のFC重車を河北物流企業に納入（東風柳汽製）
2030年FC車保有台10万台目標が公式化（2025年比倍増）
潮州三環がSOFC電解質隔膜 SOFC電堆のグローバル主要サプライヤーに成長
加水素ステーション累計631座突破（2025年新規94座）
十五五规划で水素が「前沿探索」から「規模化未来産業」に格上げ

四半期の流れ：12月は年末に向けた大型訂單ラッシュが続き、1週間で1,400台のFCトラック バス発注が集中した。1月は『エネルギー法』施行（水素初のエネルギー法明記）と新エネルギー商用車補助金開始が重なり、業界全体に楽観ムードが広がった。2月は亿华通M30+発表や政府工作報告での水素言及が注目を集め、3月は水素総合応用試験通知で四半期を締めくくった。

技術トレンド

PEMFCは引き続き市場シェア67.7%を占め、重卡 物流車を中心に拡大が続く。亿华通のM30+（300kW）は質量出力密度900W/kg突破で世界トップクラス。部品国産化は電堆 システムで100%達成だが、触媒 PEM膜 ガス拡散層などのコア材料は依然として輸入依存が残る。SOFCは商業化初期段階で、潮州三環が全技術チェーン（材料～システム）を掛持し、50kW級システムを量産段階に乗せた。華清京昆は1kW～100kWまでの製品ラインナップを揃え、SOFC全産業チェーン貫通を国内初で実現した。

市場データサマリー

指標	2025年末実績	2030年目標	備考
FC車累計販売	約4万台	10万台	新試験通知目標
加水素ステーション	631座	1,200座以上	広東 山東がリード
水素価格（終端）	30～60元/kg	25元/kg以下	優位地域15元/kg
FCシステム価格	約4,000～6,000元/kW	3,000元/kW以下	量産効果で低下中
SOFC市場規模	8.65億元	46.15億元（2032年）	CAGR約27%
FC市場成長率	CAGR 12.4%	—	世界最高水準

続きは製品版でご覧いただけます

1b. FC種別技術比較

方式	主用途	出力範囲	中国主要プレーヤー	商業化段階
PEMFC	車載 ドローン 定置	1kW ~ 300kW	亿华通 国鸿氢能 重塑能源	量産拡大期
SOFC	分散型発電 熱電連供	1kW ~ 100kW	潮州三環 華清京昆 西子洁能	商業化初期
MCFC	大型発電	100kW ~	一部研究機関	研究開発段階
AFC/AEM-FC	バックアップ 小型	~ 10kW	新興スタートアップ	初期探索

今後のマイルストーン展望

時期	予想される動き
2026年Q2	水素総合応用試験の都市群選定結果発表（4月締切 夏選定）
2026年Q3	十五五规划の水素 燃料電池専項规划発表の可能性
2027年	FCシステム価格4,000元/kW目標の達成度評価
2030年	FC車保有台10万台 水素価格25元/kg以下目標

続きは製品版でご覧いただけます

2. 市場 政策動向

2.1 燃料電池政策（工信部 発改委 十五五）

2026年3月16日、工信部 財政部 発改委は『水素エネルギー総合応用試験工作の開展に関する通知』を発出した。これは「揭榜掛帥」方式で5つの都市群を選定し、4年間の試験期間で単一都市群あたり最大16億元の補助金を交付する。応用シーンは「1+N+X生態」を掲げ、燃料電池車（重卡 バス 物流）を汎用シーンとし、N個の工業重点シーン（グリーンアンモニア 水素化工 水素冶金）、X個の革新シーン（船舶 航空 軌道交通 蓄エネ 分散型発電）を配置する。

政策	時期	内容 インパクト
水素総合応用試験通知	2026年3月	都市群単位で16億元補助、2030年FC車10万台目標
エネルギー法施行	2025年1月1日	水素が正式にエネルギー管理体系に組み込まれる
政府工作報告で水素言及	2026年3月	十五五规划で水素を「規模化未来産業」に格上げ
新エネ商用車補助金	2026年1月	新エネルギー貨車最大14万元補助（国六ディーゼル比+3万元）
示範都市群実績	2025年上期時点	5都市群累計16,633台推進（目標の51.2%）

2.2 示範都市群 補助金動向

従来の5都市群（京津冀 上海 広東 鏹州 河北）の累計実績は、FC車1.5万台以上 加水素ステーション160座 累計走行3.9億kmを突破した。京津冀都市群が6,191台で目標達成、上海3,627台（72.5%）、鏹州2,513台（56.5%）、広東2,303台（23.0%）、河北1,999台（25.9%）。中央財政は前2年度で約27.67億元の奨励金を交付しており、広州市は軽型 中型 重型FC車に対してそれぞれ0.5 1.0 2.5元/kmの運営補助を実施している。

2.3 インフラ整備（加水素ステーション）

2025年末時点で中国国内の加水素ステーションは累計631座を突破し、2025年単年では94座が新規建設された。広東省と山東省が全国をリードし、日量360トン以上の累計充填能力を有する。2030年には累計1,200座以上の建設が計画されており、新試験通知では水素価格25元/kg以下（優位地域15元/kg）を目指す。

SAMPLE VERSION

中国 燃料電池産業 四半期レポート

本サンプルでは、全25ページのうち冒頭部分のみをご覧いただけます。

製品版には以下の内容が含まれます：

- エグゼクティブサマリー（完全版）
- 市場・政策動向の詳細分析
- 技術動向（種別・用途別の詳細）
- 主要ニュース詳細（月別整理）
- 主要企業動向
- 技術・市場の示唆（シニアアナリストコメント）

季刊単価（税別）

89,000円

ご購入・お問い合わせ

Email: masa.ogawa@hydrowinglab.co.jp

Web: <https://www.hydrowinglab.co.jp/#reports>